

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2018
10.19-10.29

2018年4月20日

『Under 35 Architects exhibition 2018』

わが国を代表する建築家への登竜門としての展覧会 U-35

「Under 35 Architects exhibition 35歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2018」を、今秋、大阪駅前・うめきたシップホールにて開催します。これからの活躍が期待される35歳以下の出展候補者を全国から募り、ひと世代上の建築家である「平田晃久」の厳正な審査を経て選出された建築作品の展覧会です。また、その出展作品の中から優秀な作品を選出し、Under 35 Architects exhibition 2018 Gold Medal賞、Tyo Ito Prize(伊東賞)を授与します。本展は、これからの活躍が期待される若手建築家に発表の機会を与え、日本の建築の可能性を提示し、建築文化の今と未来を知る最高の舞台となるでしょう。



本年、選出された建築家は、京谷友也(京谷建築設計室)、高杉真由+ヨハネス・ベリー(SUGIBERRY)、彌田徹+辻琢磨+橋本健史(403architecture[dajiba])、富永美保(tomito architecture)、中川エリカ(中川エリカ建築設計事務所)、服部大祐+スティーブン・シエンク(Schenk Hattori)、三井嶺(三井嶺建築設計事務所)。それぞれが今後の活躍を期待される日本の宝です。

開催期間中は、日本を代表する企業によるギャラリー・イベントや、今年度出展する若手建築家によるギャラリー・トークを毎日開催。そして日本を代表し全国で活躍する、出展者のひと世代上の建築家を一同に招き、これからの日本の建築のあり方を探り、ゲスト建築家の審査において、Under 35 Architects exhibition 2018 Gold Medalが1点贈られます。また、今年は、伊東豊雄氏より、これから世界での活躍が期待できる若手建築家を出展者より1名選出し、伊東賞(TOYO ITO Prize)が贈られます。

脈々と受け継がれる建築の歴史と技術。現代ならではの若手の個性が、「今の時代」をより良いものに昇華させていく。これからの日本の建築の在り方や可能性。本展は、建築の今と未来を知る最高の舞台となりそうだ。

本展は、まさにこれからの時代を担っていく、最も若い世代の建築家たちによる展覧会です。建築家としての経験も浅く、まだまだ荒削りなところや成熟していないところもあるのかもしれません。それでもあえてこの建築をつくるという、厳しい道を選び、ひたむきに未来へのプロセスを模索する建築家が集まり、阪神、東日本、熊本の震災からの復興のあり方を考えてきた今このときに、共に未来をつくっていくための出発点となる場をつくることで、大きな意義を見出せるのではないかと信じています。この展覧会を通して、これからの建築の可能性をすこしでも感じていただけるでしょう。

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2018
10.19-10.29

その若さは、「新しい」か。

若手建築家が集い、平田晃久、藤本壮介らが語る、11日間。

出展者プロフィール



京谷友也

1983 年生まれ。幼少期 2 年間にアメリカ西海岸で過ごす。長野高専環境都市工学科卒業、東京大学建築学科卒業、同大学院修了。2009 年磯崎新アトリエ入社。2017 年、京谷建築設計室設立。



中川エリカ

1983 年生まれ。2005 年 横浜国立大学建築学科卒業。07 年 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。オンデザインパートナーズ入社。14 年 中川エリカ建築設計事務所設立。



高杉真由+ヨハネス・ペリー

高杉 /1984 年生まれ。武蔵野美術大学卒業後、12 年アールト大学大学院空間デザイン科修了。ペリー /1986 年生まれ。オートクチュールファッションデザイン学校卒業後、12 年ルーヴェン・カトリック大学大学院建築学科修了。2016 年 SUGIBERRY 共同設立。



服部大祐+スティーブン・シェンク

服部 / 慶應大学環境情報学部およびメンドリジオ建築アカデミーを修了。シェンク / アントワープ王立芸術アカデミーを修了。2014 年より建築事務所 Schenk Hattori を共同主宰。



彌田徹+辻琢磨+橋本健史

403architecture [dajiba]。2011 年に彌田徹、辻琢磨、橋本健史によって設立された建築設計事務所。静岡県浜松市を拠点に活動を展開。2014 年第 30 回吉岡賞、2016 年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館にて審査員特別表彰。



三井嶺

1983 年生まれ。2008 年東京大学大学院建築専攻修了。2008 年より坂茂建築設計。2015 年三井嶺建築設計事務所設立。主な作品は「日本橋旧テラー堀屋改修」、「神宮前スタジオ A- ギャラリー」。



富永美保

横浜国立大学大学院 YGSA 修了後、tomito architecture 共同設立。日常への微視的なまなざしによって環境を丁寧に観察し、出来事の関係の網目の中に建築を構想する手法を提案している。



《伊根の舟家》

京谷友也



《N O S E》

高杉真由+ヨハネス・ペリー



《東貝塚の納屋》

彌田徹+辻琢磨+橋本健史



《CASACO》

富永美保



《塔とオノマトペ》

中川エリカ



《Primary School and Kindergarten in Melle》

服部大祐+スティーブン・シェンク



《柳小路南角》

三井嶺

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2018
10.19-10.29

開催概要

展覧会名	35歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2018
日時	2018年10月19日(金)～ 10月29日(月) 12:00～20:00 [11日間] 開催期間無休 ※ 各日19:30最終入場 最終日は17:30最終入場、18:00閉館
会場	グランフロント大阪 うめきたシップ 2F うめきたシップホール 〒530-0011 大阪市北区大深町4-1
入場	¥1,000
主催	特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
共催	一般社団法人グランフロント大阪TMO 一般社団法人ナレッジキャピタル
後援	毎日新聞社 大阪市
助成	公益財団法人朝日新聞文化財団 独立行政法人日本芸術文化振興会
広報協力	LIVING&DESIGN 2018 アジア太平洋トレードセンター株式会社 リビングデザインセンターOZONE 株式会社高島屋
展示協力	株式会社インターオフィス 株式会社カッシーナ・イクシー キヤノン株式会社 パナソニック株式会社 株式会社パシフィックハウステクスタイル 株式会社目黒工芸
音楽・音響協力	Mood Media Japan 株式会社
特別協賛	株式会社ユニオン
連携協賛	積水ハウス株式会社 SANEI株式会社 株式会社シェルター 株式会社オカムラ
協賛	株式会社丹青社 株式会社乃村工藝社
協力	財団法人大阪デザインセンター 公益財団法人大阪市都市型産業振興センター
連携協力	ARCHITECTURE CITY 実行委員会



2017年度開催の様子

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2018
10.19-10.29

「Under 35 Architects exhibition 35 歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2018」を、今秋、大阪駅前・うめきたシップホールにて開催します。これからの活躍が期待される 35 歳以下の出展候補者を全国から募り、ひと世代上の建築家である「平田晃久」の厳正な審査を経て選出された建築作品の展覧会です。また、その出展作品の中から優秀な作品を選出し、Under 35 Architects exhibition 2018 Gold Medal 賞、Tyo Ito Prize (伊東賞) を授与します。本展は、これからの活躍が期待される若手建築家に発表の機会を与え、日本の建築の可能性を提示し、建築文化の今と未来を知る最高の舞台となるでしょう。

関連イベント

RELATED EVENTS | 関連イベント(展覧会会場内) [予告] うめきたシップホール2階

開催期間中に、毎日開催されるギャラリー・イベント&トーク。
関連する建築団体や企業によるコンペティションやワークショップ、
出展者によるギャラリー・トークを開催します。
ふるってご参加ください。事前予約制、各回定員 30 名。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
21 13:00-17:00 乃村工芸社 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 京谷友也	22 13:00-17:00 在阪建築四団体 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 高杉真由+ ヨハネス・ペリー	23 13:00-17:00 BIM LABO 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 彌田徹史+辻琢磨 +橋本健	24 13:00-17:00 生きた建築ミュージアム 大阪実行委員会 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 富永美保	25 13:00-17:00 積水ハウス 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 中川エリカ	19 12:00-20:00 開幕 (展覧会開催初日)	10月 20 15:30-19:30 記念シンポジウム ゲスト建築家 青澤竜一 × 五十嵐淳 × 石上純也 × 谷尻誠 × 平田晃久 × 平沼孝啓 × 藤本壮介 × 吉村靖孝 五十嵐太郎 meets U-35 出展者
28 13:00-17:00 ユニオン 「 」 18:30-19:30 ギャラリー・トーク 三井嶺	29 12:00-18:00 最終日 (展覧会開催終了日) 17:30 最終入場 18:00 閉館	※ 事前の申し込みが必要です。定員になり次第、締切ります。予めご了承ください。 ※ 講演内容、時間、および講演者は変更になる場合があります。 ※ 最新情報はウェブサイトよりご確認ください。 ● 展覧会入場料(¥1,000)が必要です ● 要事前申込み http://u35.aaf.ac/ または【U35】で検索				

- 展覧会入場料が必要です(¥1,000)
- 要事前申込み <http://u35.aaf.ac/> または【U35】で検索

※ 定員になり次第、申込みを締切ります。予めご了承ください。

※ 講演内容、時間、および講演者は変更になる場合があります。最新情報はウェブサイトよりご確認ください。

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2018
10.19-10.29

記念シンポジウム

U-35 記念シンポジウム I meets U-35出展若手建築家

日時 2018年10月20日(土) 15:30-19:30

(14:00 開場 15:30 第一部開演 17:50 第二部開演 19:30 終了)

ゲスト建築家 芦澤竜一 × 五十嵐淳 × 石上純也 × 平田晃久 × 平沼孝啓 × 藤本壮介 × 谷尻誠 × 吉村靖孝

日本を代表し全国で活躍する、出展者のひと世代上の建築家を一同に招き、これからの日本の建築のあり方を探ります。



芦澤竜一(あしざわりゅういち) 建築家
1971年神奈川県生まれ。94年早稲田大学卒業後安藤忠雄建築研究所勤務。2001年芦澤竜一建築設計事務所設立。滋賀県立大学教授。日本建築士会連合会賞など国内外で多くの賞を受賞している。



石上純也(いしがみじゅんや) 建築家
1974年神奈川県生まれ。04年石上純也建築設計事務所設立。09年「神奈川工科大学 KAIT 工房」で日本建築学会賞作品賞受賞。10年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展にて金獅子賞を受賞。



平田晃久(ひらたあきひさ) 建築家
1971年大阪生まれ。97-05年伊東豊雄建築設計事務所。05年平田晃久建築設計事務所設立。15-京都大学准教授。12年第13回ベネチア・ビエンナーレ金獅子賞(日本館)など他多数を受賞する。



藤本壮介(ふじもとそうすけ) 建築家
1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。00年藤本壮介建築設計事務所設立。第13回ベネチア・ビエンナーレ日本館で金獅子賞を受賞。13年サーペンタイン・パビリオンの設計者に選ばれる。

進行(建築史・建築批評家) 五十嵐太郎



五十嵐淳(いがらしじゅん) 建築家
1970年北海道生まれ。97年五十嵐淳建築設計事務所設立。著書「五十嵐淳 / 状態の表示」(2010年、彰国社)。「五十嵐淳 / 状態の構築」(11年 TOTO 出版)。主な受賞・吉岡賞、JIA 新人賞、北海道建築賞など。



谷尻誠(たにじりまこと) 建築家
1974年広島県生まれ。00年サボーズデザインオフィス設立。THE INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARD(アメリカ)、AR Award commendation(イギリス)、JCDデザインアワードなど他、多数を受賞する。



平沼孝啓(ひらぬまこうき) 建築家
1971年大阪生まれ。ロンドンのAAスクールで建築を学び、99年平沼孝啓建築研究所設立。主な受賞にイノベティブ・アーキテクチャ国際建築賞(イタリア)など。14年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展。



吉村靖孝(よしむらやすたか) 建築家
1972年生まれ。97年早稲田大学大学院修了。99-1年MVRDV勤務。05年吉村靖孝建築設計事務所設立。早稲田大学教授。受賞に吉岡賞、アジアデザイン賞金賞ほか。著書に『ビヘイヴィアとプロトコル』ほか。



五十嵐太郎(いがらしたろう) 建築史・建築批評家
1967年パリ(フランス)生まれ。92年東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。東北大学教授。あいちトリエンナーレ 2013芸術監督。芸術選奨新人賞を受賞。

出展者の作品発表とゲスト建築家による審査により、Under 35 Architects exhibition 2018 Gold Medal が1点贈られます。

U-35 記念シンポジウム II meets U-35出展若手建築家

日時 2018年10月27日(土) 15:30-19:30

(14:00 開場 15:30 第一部開演 18:00 第二部開演 19:30 終了)

ゲスト建築家 **伊東豊雄** 進行(建築史家) **倉方俊輔**

日本を代表する世界的建築家・伊東豊雄氏を招き、これからの建築を考えていく方法と手がかりを探ります。



倉方俊輔(くらかたしゅんすけ) 建築史家
1971年東京都生まれ。大阪市立大学准教授。主な著書に『大阪建築みる・あるく・かたる』『吉阪隆正とル・コルビュジエ』『伊東忠太建築資料集』など。ADAN機関誌『建築設計』編集長。

伊東豊雄(いとうとよお) 建築家

1941年生まれ。65年東京大学工学部建築学科卒業。近作に「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「パロック・インターナショナルミュージアム・プエブラ」(メキシコ)、「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞。2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ大三島においては、2012年より塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

伊東豊雄氏によりこれから世界での活躍が期待できる若手建築家を出展者より1名選出し、Toyo Ito Prize(伊東賞)が贈られます。

記念シンポジウム I・II 共通

会場 グランフロント大阪 北館4階 ナレッジキャピタル ナレッジシアター

定員 各回 381名(事前申込制・当日会場にて先着順座席選択)

入場 各回 ¥1,000

申込方法 ウェブサイトの申込みフォームよりお申し込みください。